

## 夏休み、本を読もう！

夏休みも図書館は開館しています。ぜひ、図書館へどうぞ。ひとり5冊まで貸し出しができます。(夏休み特別貸し出し期間8月2日まで)

**本を借りるときは**・・・カウンターで学科、学年、出席番号、名前を言えば生徒証明書がなくても、貸し出しができます。



### 図書・雑誌のリサイクル



図書館では、古くなった本、資料的価値がなくなった本、複数所蔵している本、一定期間を過ぎた図書や雑誌などをリサイクル図書として再利用していただきたいと思い「リサイクル図書コーナー」を図書館出入口付近に設けました。ご自由にお持ち帰りください。

#### 4/8～7/8までの図書貸出冊数

1年生	146冊
2年生	208冊
3年生	220冊
合計	574冊



## 各学科の専門書

今年度購入した各学科の専門書を紹介します。

(7/8までに納品された分のみ掲載)

### 〔林業科〕

『種類・特徴から材質・用途までわかる

樹木と木材の図鑑』

『樹体の解剖 しくみから働きを探る』

『樹木の顔 樹木抽出成分の効用と利用』

『バケツで実践 超豪快イネづくり』

『早生樹 産業植林とその利用』

『広葉樹材の識別』

『のらのら2016春』

『のらのら2016夏』



### 〔機械科〕

『トコトンやさしい溶接の本』

『トコトンやさしい熱処理の本』

『トコトンやさしい鋳造の本』

『目で見てわかるドリルの選び方・使い方』



読書感想文、今年は希望者のみだけけど書いてみよう！



## 読書感想文コンクールの課題図書紹介



### 『タスキメシ』

額賀滯 著

将来を期待されながらも怪我で陸上の道を諦め、料理に没頭する兄・早馬。ずっと兄の背中に憧れ、後ろを走っていた弟・春馬。一度別れた二人の道は、駅伝の聖地・箱根で再びひとつになるのか？ (小学館)



### 『ハーレムの闘う本屋：ルイス・ミシヨアの生涯』

ヴォーンダ・ミシヨア・ネルソン 著

人が誇りをもって生きるために必要なこととは？権力、差別に屈することなく、ニューヨークのハーレムで全米一の黒人専門書店をつくりあげた男の生涯。



### 『シンドラーに救われた少年』

レオン・レイソン 著

これ以上、悪いことが起こりませんように…。『シンドラーのリスト』に載った最年少のユダヤ人による証言録。ユダヤ人大虐殺の過酷な体験を生き延びた少年と家族。「最悪の状況で最善のことはした」ごく普通の人間＝シンドラーの本当の勇気とは、何だったか？

スピルバーグの感動的な映画「シンドラーのリスト」に登場するユダヤ少年による回想録。死と隣り合わせで生きた残酷な時代、シンドラーの勇気と人間性。真実の記録！

(あすなろ書房)

(河出書房新社)

## 新着図書案内



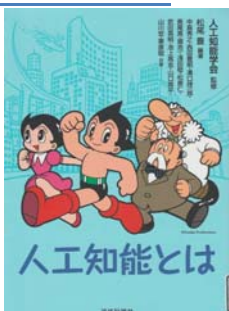
### 『朝が来る』 辻村深月 著

「子どもを、返してほしいんです」親子三人で穏やかに暮らす栗原家に、ある朝かかってきた一本の電話。電話口の女が口にした「片倉ひかり」は、確かに息子の産みの母の名だった…。子を産めなかった者、子を手放さなければならなかった者、両者の葛藤と人生を丹念に描いた、感動長篇。〔2016年本屋大賞5位〕（文藝春秋）



### 『人工知能とは』 松尾豊 編著

人工知能研究の権威が答えます！人工知能って、いったい何ですか？会誌「人工知能」上での大論争を大幅加筆。（近代科学社）



### 『DOUBLES！！ーダブルスー2nd Set』

た沢夏月 著

プレースタイルも真逆で、何から何までお互いのことが気に食わない。そんな凸凹コンビ琢磨と駆のダブルスも、都大会を経て徐々に成長していった。だがある日、「ペア解散」という理不尽な部長命令が降りかかり—。（KADOKAWA）



### 『ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」』

荒木香織 著

「荒木さんがいなければ、僕のルーティンは完成しなかった」(五郎丸歩)

ラグビー日本代表メンタルコーチとして、ワールドカップの快進撃を支えた筆者の初著作。五郎丸のあのポーズは、どうして生まれたのか。何の意味があるのか。二人三脚で「ルーティン」を作りあげた筆者だから書ける秘話がいっぱい。最新のスポーツ心理学から導き出された「メンタルの鍛え方」は…。(講談社)



### 『高校生就職面接の

受け方答え方'18年版』

進路対策最新版！

(成美堂出版)



### 『夜を乗り越える』 又吉直樹 著

芸人で、芥川賞作家の又吉直樹が、少年期からこれまで読んできた数々の小説を通して、「なぜ本を読むのか」「文学の何がおもしろいのか」「人間とは何か」を考える。また、大ベストセラーとなった芥川賞受賞作『火花』の創作秘話を初公開するとともに、自らの著作についてそれぞれの想いを明かしていく。「負のキャラクター」を演じ続けていた少年が、文学に出会い、助けられ、いかに様々な夜を乗り越え生きてきたかを顧みる。



(小学館)

### 『王とサーカス』 米澤穂信 著

2001年、新聞社を辞めたばかりの太刀洗万智は、知人の雑誌編集者から海外旅行特集の仕事を受け、事前取材のためネパールに向かった。現地でも知り合った少年にガイドを頼み、穏やかな時間を過ごそうとしていた矢先、王宮で国王をはじめとする王族殺害事件が勃発する。2001年に実際に起きた王宮事件を取り込んで描いた壮大なフィクションにして、米澤ミステリーの傑作！〔2016年本屋大賞6位〕（東京創元社）



### 『調べる・発表する 伝え方教室』

大重史朗 著

朝日・産経新聞などで活躍してきたプロの記者が、学校で役立つ伝え方のコツとノウハウを興味深いエピソードとともに教えてくれる。(旬報社)



『ニュートン別冊』[ビジュアル化学・ビジュアル物理・遺伝とゲノム・宇宙論] (ニュートンプレス)

『型で習得！中高生からの文章術』 樋口裕一 著

(筑摩書房)

『吹部！』 赤澤竜也 著 (KADOKAWA)

ほか